年間授業計画　新様式

# 大森　　高等学校　令和8年度（１学年用）　　教科　　国語　　科目　　現代の国語

教　科：　　国語　　科　目：　　現代の国語　　単位数：　　2　　単位

対象学年組：第　　１学年　　１組

教科担当者：　　（　1組：北林　）

使用教科書：　　（　第一学習社　高等学校　新編現代の国語　　）

教科　　国語　　の目標：

【知識及び技能】　情報を収集し、必要なものを抽出できる。状況に応じた文体を使うことができ、現代文法にのっとって内容を把握できる。

【思考力、判断力、表現力等】　意見を他者と伝え合うことができる。書かれている内容を読み取ることができ、テーマに合った文章を書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】　自己の課題を把握することができる。学んだ内容を生かして、将来の生き方・在り方を考えることができる。

科目　　現代の国語　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 情報を収集し、必要なものを抽出できる。状況に応じた文体を使うことができ、現代文法にのっとって内容を把握できる。 | 意見を他者と伝え合うことができる。書かれている内容を読み取ることができ、テーマに合った文章を書くことができる。 | 自己の課題を把握することができる。学んだ内容を生かして、将来の生き方・在り方を考えることができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 話・聞 | 書 | 読 | | | | | |
| １学期 | 単元名　言葉が開く世界<br>【知識及び技能】<br>常用漢字の読みと書きができるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>書かれている内容を読み取ることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>学んだ内容を生かして行動しようとする。 | 【教材】言語としてのピクトグラム（本田　弘之）／言葉の海のオノマトペ（清水　由美）<br>○主語・述語を学習し、文の要点をつかむ基礎読解力をつける。<br>○分からない語句でも漢字や前後の文脈の把握を通して語句の意味を類推する。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 2 |
| ２学期 | 単元名　話して伝える<br>【知識及び技能】<br>常用漢字の読みと書きができるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>書かれている内容を読み取ることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>学んだ内容を生かして行動しようとする。 | 【教材】話し方の工夫／論理的な表現／情報の探索と選択／相手に伝わる案内をする／合意形成のための話し合いを行う<br>○話し合いを通じ、自分の意見を他人に伝え、同時に他人の意見を正確に理解する。<br>○対人コミュニケーションを通して聞き手への思いやりを考慮した話し方を習得する。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 2 |
| ３学期 | 単元名　現代と社会<br>【知識及び技能】<br>常用漢字の読みと書きができるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>書かれている内容を読み取ることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>学んだ内容を生かして行動しようとする。 | 【教材】イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いづみ）／「材料科学」のゆくえ（佐藤健太郎）<br>○一般的な論理的文章の構成における「序論－本論－結論」の役割を意識する。<br>○要点と例を区別し、その相関を意識する。<br>○根拠、若しくは因果関係を意識できる。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | 70 |

年間授業計画　新様式

# 大森　　高等学校 令和8年度（１学年用）　　教科　　公民　　科目　　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　（　1組：竹熊　）

使用教科書：　（　帝国書院　高校生の公共　）

教科　公民　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　人間としてのあり方・生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】　社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。

【学びに向かう力、人間性等】　公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。

科目　公共　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 人間としてのあり方・生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身につけている。 | 社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 | 公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 単元名　青年期の心と現代社会における生き方<br>【知識及び技能】<br>みずからの体験などを振り返ることを通して，みずからを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>学ぶことの意義に関する資料を収集し，学び続けることの大切さについて思考し，みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 | 第1部私たちがつくる社会<br>・青年期と社会参画<br>・宗教、思想、伝統文化と社会 | 【知識・技能】<br>課題・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>提出物、出席状況 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| 2学期 | 単元名　情報化の進展とその落とし穴<br>【知識及び技能】<br>みずからの体験などを振り返ることを通して，みずからを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>学ぶことの意義に関する資料を収集し，学び続けることの大切さについて思考し，みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 | 第1部私たちがつくる社会<br>・私たちの社会の基本原理<br>第2部社会の仕組みと諸課題<br>・私たちと法<br>・私たちと政治<br>・私たちと経済 | 【知識・技能】<br>課題・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>提出物、出席状況 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| 3学期 | 単元名　現代の政治と経済<br>【知識及び技能】<br>みずからの体験などを振り返ることを通して，みずからを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>学ぶことの意義に関する資料を収集し，学び続けることの大切さについて思考し，みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 | 第2部社会の仕組みと諸課題<br>・私たちと経済 | 【知識・技能】<br>課題・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>提出物、出席状況 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |

年間授業計画 新様式

# 大森　　高等学校 令和8年度（１学年用）　　教科　数学　　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　（　1組：荒木　）

使用教科書：　（　東京書籍　改訂版　新数学Ⅰ　／改訂版　新数学Ⅰ　解答編　）

教科　数学　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　中学校までに習得すべき基本的な計算能力および計算能力を確実に定着させ、数学への不得意意識の払拭を図る。

【思考力、判断力、表現力等】　抽象的な概念に数多く触れる機会を設け、その抽象的概念が意味することを考えさせ抽象的概念を具象化させる能力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】　解決が困難だと思える課題にも粘り強く立ち向かい、様々な方法でアプローチを行う態度を育成する。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 中学校までに習得すべき基本的な計算能力および計算能力を確実に定着させ、数学への不得意意識の払拭を図る。 | 抽象的な概念に数多く触れる機会を設け、その抽象的概念が意味することを考えさせ抽象的概念を具象化させる能力を高める。 | 解決が困難だと思える課題にも粘り強く立ち向かい、様々な方法でアプローチを行う態度を育成する。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 単元名　数の計算（整数の計算・少数分数の計算）<br>【知識及び技能】<br>基礎計算能力の確認・定着<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>少数・分数の持つ意味を考えさせる<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>くり返し計算練習をする態度を育成する | 序章　数の計算<br>１．整数の計算<br>２．小数・分数の計算 | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| 2学期 | 単元名　数の計算（計算の理由　正負の数の計算）<br>【知識及び技能】<br>基礎計算能力の確認・定着<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>少数・分数の持つ意味を考えさせる<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>くり返し計算練習をする態度を育成する | 序章　数の計算<br>３．計算の利用<br>４．正負の数の計算 | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| 3学期 | 単元名　数と式（文字と式）<br>【知識及び技能】<br>基礎計算能力の確認・定着<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>少数・分数の持つ意味を考えさせる<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>くり返し計算練習をする態度を育成する | 第1章　数と式<br>1節　文字と式 | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |

年間授業計画　新様式

# 大森　　高等学校 令和８年度（１学年用）　　教科　　理科　　科目　　科学と人間生活

教　科：　　理科　　科　目：　　科学と人間生活　　単位数：　　2　　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　　（　1組：根岸　）

使用教科書：　　（　第一学習社　高等学校　科学と人間生活　　）

教科　　理科　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ，科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。

【思考力、判断力、表現力等】　自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たした役割を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。

【学びに向かう力、人間性等】　科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

科目　　科学と人間生活　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ，科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。 | 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たした役割を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。 | 科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １学期 | 単元名　科学技術の発展、物質の化学<br>【知識及び技能】<br>科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>科学に対する興味・関心を高める。 | 序章　科学技術の発展<br><br>第Ⅰ章　物質の科学<br>第１節　材料とその利用<br>第２節　衣料とその食品 | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| ２学期 | 単元名　生命の科学、熱や光の科学<br>【知識及び技能】<br>科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>科学に対する興味・関心を高める。 | 第Ⅱ章　生命の科学<br>第１節　ヒトの生命現象<br>第２節　微生物とその応用<br>第Ⅲ章　熱や光の科学<br>第１節　熱の性質とその利用<br>第２節　光の性質とその利用 | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| ３学期 | 単元名　地球や宇宙の科学、これからの科学と人間生活<br>【知識及び技能】<br>科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>科学に対する興味・関心を高める。 | 第Ⅳ章　地球や宇宙の科学<br>第１節　自然景観と自然災害<br>第２節　太陽と地球<br><br>第Ⅴ章　これからの科学と<br>人間生活 | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |

年間授業計画　新様式

# 大森　　高等学校　令和8年度（１学年用）　　教科　　保健体育　　科目　　体育

教　科：　　保健体育　　科　目：　　体育　　単位数：　　2　　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　　（　1組：三島　）

使用教科書：　　（　大修館書店　現代高等保健体育　改訂版　）

教科　　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に使える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　　体育　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付けるようにする。 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に使える力を養う | 生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 技 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １学期 | 単元名　バドミントン・バレーボール<br>【知識及び技能】<br>各種の運動の特性に応じた技能を身に付けさせる<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>運動や健康についての課題を発見し、他者に伝える力を育成する<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生涯にわたって計画的に運動に親しむ、態度を育成する | ４月当初はオリエンテーションを行い、集団行動や補強運動を中心に学ばせる。<br>６月上旬から６月下旬までは、スポーツテストを中心に行い生徒の運動能力を確認させる。 | 【知識・技能】<br>スポーツテスト<br>【思考・判断・表現】<br>授業の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | ○ | 28 |
| ２学期 | 単元名　テニス・バスケットボール<br>【知識及び技能】<br>各種の運動の特性に応じた技能を身に付けさせる<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>運動や健康についての課題を発見し、他者に伝える力を育成する<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生涯にわたって計画的に運動に親しむ、態度を育成する | ９月から10月までテニスを実施する。11月から12月までバスケットボールを実施する。 | 【知識・技能】<br>スポーツテスト<br>【思考・判断・表現】<br>授業の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | ○ | 28 |
| ３学期 | 単元名　持久走・卓球<br>【知識及び技能】<br>各種の運動の特性に応じた技能を身に付けさせる<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>運動や健康についての課題を発見し、他者に伝える力を育成する<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生涯にわたって計画的に運動に親しむ、態度を育成する | １月から２月まで持久走・卓球を実施する。 | 【知識・技能】<br>スポーツテスト<br>【思考・判断・表現】<br>授業の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | | | | | | | | 合計<br>70 |

年間授業計画　新様式

# 大森　　高等学校 令和8年度（１学年用）　　教科　　保健体育　　科目　　保健

教　科：　　保健体育　　科　目：　　保健　　単位数：　　1　　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　　（　1組：三島　）

使用教科書：　　（　大修館書店　現代高等保健体育　改訂版　）

教科　　保健体育　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　毎日の生活の中での健康に対する知識･理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】　体のつくりと働きについて理解を含め、健康作りや生活習慣病を自ら考える。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯を通じる健康や安全について理解を深める。

科目　　保健　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 毎日の生活の中での健康に対する知識･理解を深める。 | 体のつくりと働きについて理解を含め、健康作りや生活習慣病を自ら考える。 | 生涯を通じる健康や安全について理解を深める。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 単元名　現代社会と健康<br>【知識及び技能】<br>健康に対する知識・理解を深める<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>健康作りや生活習慣病を自ら考える<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生涯を通じる健康や安全について理解を深める | 01健康の考え方と成り立ち<br>02私たちの健康のすがた<br>03生活習慣病の予防と回復<br>04がんの原因と予防<br>05がんの治療と回復<br>06運動と健康　　07食事と健康<br>08休養・睡眠と健康　　09喫煙と健康 | 【知識・技能】<br>考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | 単元名　現代社会と健康<br>【知識及び技能】<br>健康に対する知識・理解を深める<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>健康作りや生活習慣病を自ら考える<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生涯を通じる健康や安全について理解を深める | 10飲酒と健康<br>11薬物乱用と健康　12精神疾患の特徴<br>13精神疾患の予防　14精神疾患からの回復<br>15現代の感染症　　16感染症の予防<br>17性感染症・エイズとその予防<br>18健康の関する意思決定・行動選択<br>19健康に関する環境づくり | 【知識・技能】<br>考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 単元名　安全な社会生活<br>【知識及び技能】<br>健康に対する知識・理解を深める<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>健康作りや生活習慣病を自ら考える<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生涯を通じる健康や安全について理解を深める | 01事故の現状と発生要因<br>02安全な社会の形成<br>03交通における安全<br>04応急手当の意義とその基本<br>05日常的な応急手当<br>06心肺蘇生法 | 【知識・技能】<br>考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | 35 |

年間授業計画　新様式

# 大森　　高等学校　令和８年度（１学年用）　　教科　　芸術　　科目　　音楽Ⅰ

教　科：　　芸術　　科　目：　　音楽Ⅰ　　単位数：　　2　　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　　（　1組：小森　）

使用教科書：　　（　教育芸術社　MOUSA1　　）

教科　　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　　音楽を表現する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　　音楽に親しみ、進んで表現し、鑑賞することができる。

【学びに向かう力、人間性等】　　音や音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽活動の中で創意工夫しいかすことができる。

科目　　音楽Ⅰ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 音楽を表現する技術を身につける。 | 音楽に親しみ、進んで表現し、鑑賞することができる。 | 音や音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽活動の中で創意工夫しいかすことができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 歌 | 器 | 創 | | | | | | |
| １学期 | 単元名　歌唱・器楽・鑑賞<br>【知識及び技能】<br>基本的な発声・奏法を身に着ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>その曲に合った音楽表現の工夫<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>様々な音楽に対し積極的に鑑賞する。 | 歌唱練習・キーボードの奏法・コードの仕組み・鑑賞 | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 28 |
| ２学期 | 単元名　歌唱・器楽・鑑賞<br>【知識及び技能】<br>基本的な発声・奏法を身に着ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>その曲に合った音楽表現の工夫<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>様々な音楽に対し積極的に鑑賞する。 | 混声合唱・ギターの奏法・メロディーの創作・鑑賞 | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 28 |
| ３学期 | 単元名　歌唱・器楽・鑑賞<br>【知識及び技能】<br>基本的な発声・奏法を身に着ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>その曲に合った音楽表現の工夫<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>様々な音楽に対し積極的に鑑賞する。 | 混声三部合唱・合奏・合奏における編曲・鑑賞 | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | | 70 |

年間授業計画　新様式

# 大森　　高等学校　令和８年度（１学年用）　　教科　　外国語　　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　（　1組：紺野　）

使用教科書：　（　開隆堂　Revised Amity English Communication Ⅰ　）

教科　外国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 正確な文法及び、語彙を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 長文・聴解などにおいて文脈を理解し、あらすじを掴もうとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 異文化に接し、他者を理解しようとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 正確な文法及び、語彙を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。 | 長文・聴解などにおいて文脈を理解し、あらすじを掴もうとする態度を養う。 | 異文化に接し、他者を理解しようとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 聞 | 読 | 話[やり] | 話[発表] | 書 | | | | | |
| 1学期 | 単元名　時制の知識・語彙を用いた表現等<br>【知識及び技能】<br>語彙・文法を用い平易な表現ができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>読解・聴解を通し内容を理解できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>各単元における異文化への理解を深める。 | be動詞・一般動詞<br>過去形<br>進行形<br>助動詞 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | | 2 |
| 2学期 | 単元名　時制の知識・語彙を用いた表現等<br>【知識及び技能】<br>語彙・文法を用い平易な表現ができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>読解・聴解を通し内容を理解できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>各単元における異文化への理解を深める。 | 比較<br>現在完了<br>受動態<br>現在分詞と過去分詞 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | | 2 |
| 3学期 | 単元名　時制の知識・語彙を用いた表現等<br>【知識及び技能】<br>語彙・文法を用い平易な表現ができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>読解・聴解を通し内容を理解できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>各単元における異文化への理解を深める。 | 不定詞<br>動名詞<br>関係代名詞 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>小テスト・考査<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | | | 70 |

年間授業計画 新様式

# 大森　　高等学校 令和8年度（１学年用）　　教科　　家庭　　科目　　家庭総合

教　科：　家庭　　科　目：　家庭総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　（　1組：平野　）

使用教科書：　（　教育図書　ウェルビーイングにつなぐ　家庭総合　）

教科　家庭　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　生活を営んでいくのに必要な知識や技術を、実践を通して学習させ、知識の幅を広げさせる。

【思考力、判断力、表現力等】　多くの事象に触れさせ、必要な情報を収集・選択する経験をさせ、意思決定できる力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい生活を目指すことの必要性を知り、グループワークなどを通して共生の大切さを実感させる。

科目　家庭総合　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 生活を営んでいくのに必要な知識や技術を、実践を通して学習させ、知識の幅を広げさせる。 | 多くの事象に触れさせ、必要な情報を収集・選択する経験をさせ、意思決定できる力を育む。 | よりよい生活を目指すことの必要性を知り、グループワークなどを通して共生の大切さを実感させる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 単元名　生活のマネジメント・青年期の課題<br>【知識及び技能】<br>生活についての知識と機能を経験的に学ばせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>多くの事象の中から、意思決定できる力を高める。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>より良い生活を目指せる意識を高める。 | 第１章　生活のマネジメント<br>第２章　青年期の課題と自立 | 【知識・技能】<br>小テスト・考査・実習・作品提出<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 27 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | 単元名　衣生活のマネジメント<br>【知識及び技能】<br>生活についての知識と機能を経験的に学ばせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>多くの事象の中から、意思決定できる力を高める。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>より良い生活を目指せる意識を高める。 | 第１０章　衣生活のマネジメント<br>被服実習（クロス刺しゅう、エプロン製作を含む） | 【知識・技能】<br>小テスト・考査・実習・作品提出<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 27 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 単元名　経済生活・住生活のマネジメント<br>【知識及び技能】<br>生活についての知識と機能を経験的に学ばせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>多くの事象の中から、意思決定できる力を高める。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>より良い生活を目指せる意識を高める。 | 第８章　　経済生活のマネジメント<br>第１１章　　住生活のマネジメント | 【知識・技能】<br>小テスト・考査・実習・作品提出<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計<br>70 |

年間授業計画 新様式

# 大森　　高等学校 令和８年度（１学年用）　　教科　　情報　　科目　　情報Ⅰ

教　科：　情報　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　1 学年　　1 組

教科担当者：　（ 1組：鈴木 ）

使用教科書：　（ 実教出版 情報Ⅰ Flex ）

教科　情報　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　基本的な情報リテラシーを習得させ見栄えの良い文章などを作成させる。

【思考力、判断力、表現力等】　情報の収集及び活用能力の育成し自ら判断し処理できる能力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】　情報モラルに対する意識を高める。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 基本的な情報リテラシーを習得させ見栄えの良い文章などを作成させる。 | 情報の収集及び活用能力の育成し自ら判断し処理できる能力を育む。 | 情報モラルに対する意識を高める。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 技 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １学期 | 単元名　情報社会・情報デザイン<br>【知識及び技能】<br>単元における仕組を理解し、構築する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>単元における内容について再表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。 | Microsoft Wordの基本的な使い方の習得 | 【知識・技能】<br>小テスト<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | ○ | 28 |
| ２学期 | 単元名　デジタル・ネットワーク<br>【知識及び技能】<br>単元における仕組を理解し、構築する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>単元における内容について再表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。 | Microsoft Wordの基本的な使い方の応用 | 【知識・技能】<br>小テスト<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | ○ | 28 |
| ３学期 | 単元名　問題解決・プログラミング<br>【知識及び技能】<br>単元における仕組を理解し、構築する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>単元における内容について再表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。 | Microsoft Wordの基本的な使い方の応用と演習 | 【知識・技能】<br>小テスト<br>【思考・判断・表現】<br>ノートやプリント、提出物の取り組み状況・行動観察<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の発言・行動観察 | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | | | | | | | | 合計<br>70 |